



市議会だより

第172号

平成29年5月15日



議会報告会を行いました

4月22日に基里・旭 両まちづくり推進センターで開催しました。
多数の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

3月定例市議会

平成29年度予算を審議
新しい副市長選任に同意

一般質問 .. 4~8

- ◆主な事業と予算額..... 3
- ◆常任委員会審査報告 .. 2・3
- ◆議決結果..... 9
- ◆意見書..... 10
- ◆議会日誌・編集後記..... 10

3月定例会

3月定例会は3月1日から23日まで開かれ、市長提出議案26件、議員提出議案5件の審議のほか18人の議員が一般質問を行いました。

今定例会には、新年度の予算となる平成29年度予算案7件のほか、平成28年度の補正予算案、また、条例案や副市長の選任などの議案が市長から提案されました。

新年度の予算は、各常任委員会に付託されて審査が行われました。委員会での審査の主な内容は、下段のとおりです。

市長提出議案は

原案のとおり可決

本会議の採決では、一般会計予算に対しての反対討論がありました。が、すべての予算が原案のとおり可決されました。

新年度予算のほかに提案された平成28年度の補正予算、また、新産業集積エリア整備事業の事業用地を取得するための議案などは、すべて原案のとおり可決されました。

新副市長の選任に同意

種村副市長の後

任の副市長として、横尾金紹氏を選任することに同意しました。



横尾金紹副市長

総務文教

歳出予算では、ふるさと寄附金に対する謝礼品代、基幹系情報システムと内部情報システムの事務機等の借り上げ経費、庁舎整備基本計画策定委託料、九州国際重粒子線がん治療センター施設整備補助金、市議会議員選挙経費、都市計画マスタープラン策定支援委託料、鳥栖駅周辺整備事業関連の物件調査等委託料、消防団の小型動力ポンプ積載車購入費、小中学校の普通教室棟と屋内運動場のトイレ改修工事に伴う設計業務委託料、放課後児童クラブに対する補助金などが計上されました。

また、委員会では、ふるさと寄附金の目標額と今後の方向性、職員採用試験の実施方法の見直しと今後の実施方針等、土地利用構想策定調査事業の具体的な内容、九州国際重粒子線がん治療センター施設整備補助金、庁舎整備事業の今後のスケジュール等、小中学校トイレ改修の具体的な改修方法、小中学校の備品購入の内容、就学援助の補助金の支給時期などについて質疑がありました。

建設経済

歳出予算では、滞在型農園施設等の指定管理料、市小口資金融資預託金など貸付金、観光イベント推進補助金、道路側溝等工事などの工事請負費、今泉・田代大官町線舗装工事などの請負費、橋梁点検等委託料、田代大官町・萱方線ほか1路線道路改良事業に伴う移転補償費、高速道路利便増進事業調査委託料、地方バス路線維持費補助金、都市公園・児童遊園などの公園管理委託料、防災拠点建築物耐震改修補助金、産業団地造成特別会計予算の工業用地整備工事費などが計上されました。

また、委員会では、新制度の農業委員や農地利用最適化推進委員の役割と公募結果、さが園芸農業者育成対策事業費補助金、滞在型農園施設等指定管理料の積算方法、市内イベント費用の確保、鳥栖駅周辺整備事業と都市計画道路見直し事業との整合性、田代大官町・萱方線道路改良事業の歩道整備、空家等の実態調査の集計結果と公開などについて質疑がありました。

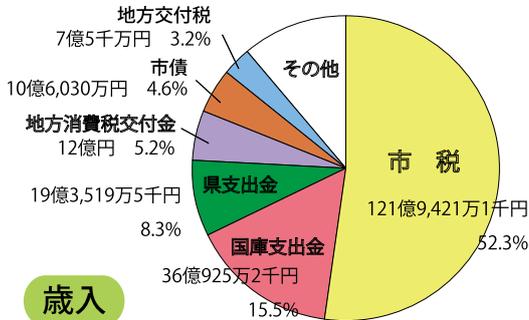
厚生

歳出予算では、旭まちづくり推進センター改修工事費、市税の賦課徴収事務経費、戸籍や住民票の発行事務経費、障害者自立支援医療費、食の自立支援事業委託料、児童扶養手当費、子どもの医療費、私立保育所等施設整備補助金、児童手当費、生活保護費、妊婦・乳児健診委託料、予防接種委託料、斎場の管理運営にかかる経費、塵芥収集運搬委託料、自動車騒音測定委託料、幼稚園就園奨励費補助金、市民文化会館管理業務等委託料、体育施設管理委託料、スタジアム駐車場用地購入費などが計上されました。

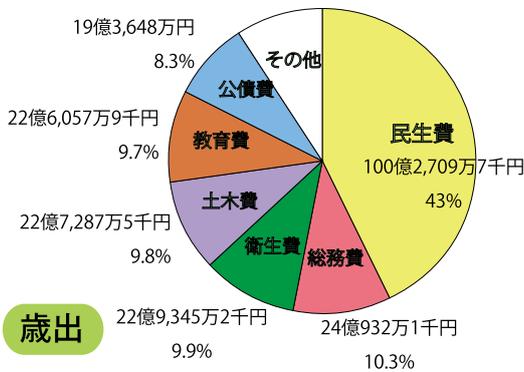
また、委員会では、旭まちづくり推進センター改修の目的と内容等、全日本同和会補助金、地域支援事業の内訳等、公立保育所の保育士の賃金の算出根拠等、がん検診事業の予算額の減少等、次期ごみ処理施設建設に伴う職員体制、体育施設の修繕、国民健康保険制度改正による国の財政支援などについて質疑がありました。

平成29年度 一般会計予算 232億9,835万円

前年度比 3億8,007万4千円減



歳入



歳出

【新年度の主な事業と予算額】

- 庁舎整備事業……………2,064万7千円
- 土地利用構想調査事業……………720万円
- 旭まちづくり推進センター改修事業……………1億3,645万9千円
- 市議会議員選挙費……………4,753万4千円
- 障害者自立支援給付費……………11億円
- 施設型等給付費……………15億円
- 保育補助者雇上強化事業……………1,772万円
- 予防接種経費……………2億776万円
- ごみ減量化・リサイクル対策経費……………1億997万円
- さが園芸農業者育成対策事業……………3,900万円
- ため池測量調査事業……………1,175万円
- 企業立地奨励金等……………4,079万3千円
- 田代大官町・萱方線等道路改良事業……………1億1,077万1千円
- 都市計画道路見直し事業……………920万3千円
- 小型動力ポンプ付積載車購入費……………2,220万円
- 小中学校トイレ改修事業……………1,500万円
- 特別支援学級等生活指導補助員配置事業……………3,740万4千円
- 留守家庭児童等少年教室事業……………7,459万2千円
- 定住・交流センター管理運営経費……………6,737万6千円
- 体育施設維持管理経費……………2億5,064万6千円

新年度予算以外に関する主な質疑

総務文教



総合政策課 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画策定業務委託に關しての入札参加状況と選考方法、地方創生推進交付金の事業費総額と交付金額、平成29年度の交付金制度、情報政策課 社会保障・税番号制度改修業務委託料の内容。住民票等コンビニ交付システムの交付状況。ホームページ掲載内容の充実。

二バスの利用者数の推移。新鳥栖駅周辺駐車場の料金改定後の利用状況。新鳥栖駅周辺施設管理業務の内容。

建設経済



教育委員会事務局 学校給食センター被災検証委員会の今後のスケジュールと対応。放課後児童クラブ「なかよし会」の待機児童の状況。

厚生



社会福祉課 食の自立支援事業委託料の減額の理由。

こども育成課 児童数の減少と保育園の待機児童数との関連性。公立保育園の保育士に關し、臨時職員と嘱託職員の賃金、保育士が確保できない原因。

スポーツ振興課 スポーツ振興基金積立金の考え方。(仮称)健康スポーツセンター整備事業の状況報告。

農林課 イノシシとアライグマの捕獲頭数の推移。

建設課 木造住宅耐震診断・改修補助金の実績と今後の見込み。

国道・交通対策課 路線バスとミ

市民協働推進課 今後のまちづくり推進センターの改修等の計画。

税務課 市税の滞納繰越分の減額時期と今後の対応。国民健康保険税の徴収率。

国保年金課 決算に伴う前年度繰上充用金に關する対応。

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



橋本市政
久保山日出男(自民クラブ)

問

橋本市政について

① 中学校吹奏楽部の楽器について、予算の確保をお願いするとともに、小中学校の諸問題の解決のために今まで以上の教育予算確保について市長の考えを問う。
② 健康長寿のまちづくりについて、集団がん検診の無料化、健康マイレージの効果等について問う。
③ 防災等機能の強化について、熊本地震規模が鳥栖市周辺で起こった

答

場合の想定について問う。

① 鳥栖市の宝である子どもたちのために、今後も適切な教育関係の予算確保ができるよう努める。
② 初めてがん検診を受診する人が増えている。健康マイレージのポイント交換率は決して高くない。原因として、健康マイレージの認知度が低いことが考えられる。
③ 通常業務に加えて災害対応業務が増えることになるため、非常時優先業務の洗い出しなど業務継続計画の策定作業をすすめている。



サガハイマットの現況と今後
森山林(自民クラブ)

問

サガハイマットは平成25年5月に開設され、同年8月より治療が開始されました。今年1月末までの治療患者数及び居住地別患者数、並びに治療部位別患者数、さらに今後の治療対象部位についてお伺いします。

答

平成29年1月末現在、治療患者数は1830人であり、地域別に見ると、福岡県が925人、佐賀県が319人、長崎県が141人、



**①待機児童
②人材育成**
下田寛(新風クラブ)

問

①本年度より、保育所3園が開園を予定しており、大幅な待機児童数減少が見込まれている。今後の更なる待機児童数を想定すると、保育士の待遇改善と数の確保が重要となる。また、多様なニーズに対応するために、家庭保育世帯への給付金制度を創設すべきと考える。

答

国県市と共同して保育従事者の処遇改善や、制度新設など必要な措置を講じる。また、家庭保

問

②九州の拠点都市として、九州全体の発展に寄与するべく、民間と強力で連携し、将来に向けた人材育成を行うべきではないか。

答

まちづくりの主役や、国際社会で活躍できる人材育成が大切である。民間とも連携を行い、本物や最前線で活躍する方々と触れ合う機会を随時創出したい。
このほかの質問◆避難所における物資集積について

熊本県が126人、大分県が74人、山口県が71人、宮崎県が64人、鹿児島県が43人、その他が67人です。治療部位別では、前立腺がんが1208人で全体の66%、肝臓がん181人で全体の約10%、肺がん145人、すい臓がん99人、頭頸部がん95人、骨軟部がん41人、その他61人となっています。平成29年度から3室目の治療室が治療開始予定とされており、今までより多くの患者さんの治療が可能となり、今後、食道がんや子宮がんが治療対象部位として予定されている所です。
このほかの質問◆マイナンバー制度



**まちづくりの
主役は市民です**
江副康成（天桜会）

問 平成23年度に実施された高速道路利便増進事業検証（スマーティンター設置可能性）の結果として、鳥栖市内では山浦PAが最有力と報告された事実があります。にもかかわらず、これまで市内部の報告に留まり、昨年12月議会で開示されるまで4年8か月にわたり公にされることはありませんでした。
「まちづくりの主役は市民です」に鑑みれば、随時各種事業の情報発信



**①子育て②市道
③体育施設**
樋口伸一郎（自民クラブ）

問 ①子育てのしやすい環境を創るため、保育の質の低下を招かないような、入所待ち児童の解消及び、保育士の確保や処遇の改善について伺います。

答 年次的に入所待ち児童を解消しつつ、保育の質の向上に寄与できる保育士確保に繋げていきたいと思います。
問 ②儀徳町の側溝整備における通学路確保を含む、市全般の市

を行っている、市民の意見を反映すべきではないのでしょうか。

答 各種事業の推進を図る上で、情報発信の重要性を認識し、できる限り市民の方々の要望、意見を尊重できるよう、適宜、適切に情報発信に努めてまいります。

意見 適宜では情報を持つ者の恣意的な判断を許すことになりません。適宜ではなく、「適時」市民の判断を仰げるように公開すべきです。また、全ての公務はいずれ公開されることを前提として職員の方さんには職務に当たっていただきたいです。

道整備促進について伺います。

答 儀徳町の側溝整備における通学路確保は、平成29年度の工事実施を予定したいと考えています。また、市道全般については、現在事業化されている道路事業の早期完了を目指します。

問 ③野球場整備を含む、室内外問わずの、体育施設整備促進について、執行部の考えを伺います。

答 野球場の必要性は認識できていますが、財源や土地の問題から難しい現状があります。室内外問わず、体育施設の日程調整や既存施設の有効活用を努めていきます。



**国民健康保険
問題について**
尼寺省悟（日本共産党議員団）

問 国民健康保険（国保）加入者の実情及び、実情をどう認識しているのか。

答 所得233万円、40代の夫婦、子1人の場合で年間47・4万円。所得110万円、40代の母親、子2人の場合で、19・6万円。これは県内で3、4番目の高さ。所得30万円以下の低所得世帯は国保世帯の51・2%。滞納世帯の56%が課税所得30万円以下の世帯であり、加



**市道田代大官町
萱方線の道路**
国松敏昭（公明党）

問 市道田代大官町萱方線の道路改良事業は、都市計画道路の変更に伴い県道久留米基山筑紫野線から国道34号までの計画は、全線の早期事業完成が必要と考えるが、今の事業の進捗状況と、国道34号までの見通しについて問う。

答 この事業は、平成27年度に道路改良に着手し、県道久留米基山筑紫野線と交差する池の内交差点から池田下ため池北の交差点まで、

入者は厳しい状況に置かれていると認識している。

問 平成30年度より、国保の運営主体が都道府県に移されるが、国保税は下がるのか。
答 現状では税率が見込めず、わからない。

意見 このように国保の都道府県化により、高すぎる国保税がどうなるかは不明であり、逆に引き上げになる可能性すらある。
このほかの質問◆子どもの貧困について／今後の事業展開についてほか

約1100m、両側に3・5mの自転車歩行者道を含む14mの道路幅を計画して進める。進捗状況は、平成27年度に路線測量、道路の詳細設計など調査設計を実施し、平成28年度は、構造物設計の地質調査、用地測量及び建物などの移転補償を算定のための物件等の調査を実施する。池田下ため池北の交差点から国道34号までの見通しは、現在事業の完了の目途が付いた段階で、次期の事業化について検討します。
このほかの質問◆まちづくりの視点からの無電柱化について／国道3号、34号の進捗状況について



**新産業集積エリア道路
工事集中化対策について**
藤田昌隆(新風クラブ)

問

平成28年〜平成35年度にかけて、新産業集積エリア付近に、五つの道路改良、造成工事が予定されております。新産業集積エリア造成工事、轟木・衛生処理場線道路改良工事、次期こみ処理施設建設工事、県道中原鳥栖線道路改良工事、宝満川・安良川右岸堤防整備工事など重複しておこなわれますので、それにとともに鳥南橋を中心とした大渋滞、交通事故の発生が心配されます。

答

国・県・市の事業関連部署が今まで二回の事業調整会議を開催し、混雑する時間帯の回避や交通規制の短縮化、また迂回路の確保など検討しながら、周辺交通への影響が最小限となるよう努めてまいります。

工事期間中の交通混雑緩和に向けた対策について、県などの関係機関とどのように連携を図るのか。



**職員体制
について**
松隈清之(天桜会)

問

窓口業務の民間委託について検討はしているのか。過去、第3次鳥栖市行政改革実施計画において民間活力の活用への検証に取り組みられた経緯があり、国においても窓口業務の委託化の拡大を推進している。単にコスト削減や人員削減だけでなく、今後の地域間競争の中で優位に立つためにも民間に出来ることは民間に任せ、人材を本市の持続的発展に繋がる戦略を描くための企

答

窓口業務の民間委託については一定のメリットはあると思うが、現時点で検討に至っていない。今後、業務の推進及び見直しを行う上で民間活力の検討は必要だと考える。また、市の将来像を描いたり、市政の戦略を練ることを担う企画・政策部門に人員を注力することは重要な課題と認識している。

画・政策部門の拡充に充てるべきではないのか。



**ミニバスを含む
公共交通**
中川原豊志(自民クラブ)

問

市内の公共交通機関の一つにミニバスが運行していますが、このミニバスについては年々利用者が増加しており、市民、特に高齢者の移動手段として定着してきていますが、路線や増便等の要望もあり、今後の市内の公共交通について見直し検討は考えているのかを伺う。

答

本市の公共交通体系については、現在の公共交通利用者の移動手段の確保を図るとともに、高齢

者の日常生活に必要な公共交通の確保を目標としており、定期的な利用者へのアンケート調査を実施するなど改善ニーズを聞きながら、利用促進に努めてきていて、今後については、公共交通に密接に関わる鳥栖駅周辺整備が検討されており、この鳥栖駅周辺のまちづくりと連携を図り、市民の皆様がより分かり易く、より利用しやすい公共交通となるよう検討してまいりたいと考えております。

このほかの質問 ◆都市計画マスタープラン策定事業／都市計画道路見直し事業についてほか



**高橋の暫定的な
整備について**
久保山博幸(自民クラブ)

問

曾根崎交差点から市役所交差点へ至る幹線道路には近年大型トラック等の流入増加もあり、時間帯によっては数珠繋ぎの渋滞が発生している。このルートにある高橋上では双方方向車両によって道路を塞いでいる状況が度々発生している。万が一の際、緊急車両等の通過に支障を来たす。JR鹿児島線から東に居住する市民にとってはこのルートは生命線と言えるものであり、都市計

答

画道路の見直し、整備の事業完了までに長い時間がかかる事を想定すれば、高橋を活用した暫定的な整備により、県道鳥栖停車場曾根崎線の交通混雑の早期解消が求められるが。

既存の道路空間を有効活用した車道の追加や滞留車線の延伸といった整備が実施され、本年度完了したところであり、事業の実施により一定の効果が図れているものと認識している。高橋は、最近補強工事が実施されており、追加での暫定整備等は難しく、高架区間は限られた道路幅員であることから暫定的な整備は難しい状況である。



**市民が主役の
地域の学校づくり**
西依義規(新風クラブ)

問 (仮称)味坂スマートーCCは、クロスロード・スマートーCCとして本エリアの発展や九州の防災的観点からも早期に設置すべきでは。

答 「都市計画マスタープラン」「将来道路網の方針検討」等において、スマートーCC設置の目的、必要性等を明確にします。

問 情報モラル教育の今後は。
答 学校だけでは限界があり、特に家庭の協力が不可欠。教職員

の意識の啓発や指導力向上への研修充実にも努め、学校と家庭が連携してネット上のトラブルの諸課題について情報を交換し、ルールづくりや情報モラルを指導していきます。

問 「市民主体のまちづくり」には「学校を核としたまちづくり」子ども・学校・地域をつなぐ「コミュニティ・スクールの導入が必要では。

答 平成30年度には、市内にモデル校を委嘱し、学校を核とし、地域とともにある学校づくりを進め、まちづくり推進協議会等と連携を図り、市ならではの「コミュニティ・スクールの制度設計に取り組みます。



**鳥栖駅は
東口設置を**
齊藤正治(自民クラブ)

問 鳥栖駅整備については、検討委員会、橋上駅と東口設置を比較検討され、東口設置の方が事業費が安く、利便性が高いとされ、課題として、駅西広場の整備や駅の待合わせ場所等のたまり空間等の課題があるとされている。従って東口設置の場合の課題を解決すれば、事業費も安く、利便性も高くなるのではないか。検討委員会においては課題まで示し提言されているが、課題

の解決に向けて議論されていないようだ。橋上駅の場合は、改札口一ヶ所で、乗降ホームまで階段で上り下りすることになり、時間と負担がかかる。東口設置の場合は現在ののなだらかな地下通路は、障がい者や高齢者、そして妊婦や子供達などの歩行者にとってやさしい通路として評価できる。鳥栖駅の現有資源を有効に活用する知恵を絞り、東口設置の課題を解決されたうえで、市民をはじめ駅利用者の皆様から評価される整備を求める。

答 答弁はあったが、議員本人の希望により記載なし。



**鳥栖駅周辺整備・今後の
予定・進め方について**
小石弘和(誠和クラブ)

問 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画は、年度内に策定することが目標とされていたが、未だ市議会調査研究特別委員会にも報告がなく、本当にできるのかどうか疑問を持っている。現在の進捗と今後の見通し、また、関係機関協議で、どのような問題があったのか。更に基本計画に続く基本設計などの進め方についてどのように考えているのか。

答 まちづくり検討委員会では、鳥栖駅西側交差点の道路を集約し、十字交差点に整備する案が好ましいという意見集約がされたが、関係機関との協議・調整に不測の時間を要している。駅舎・自由通路など駅前広場の整備に関しては、JR九州との協議で一定の目途がついたと認識していたが、周辺道路や交差点との総合的な整合を図る必要が出てきたため、更なる協議の積み上げが必要となった。早期に関係機関と合意できるよう努力し、基本設計の予算計上をお願いできるようにしたい。



**正規採用で
保育士確保を図れ**
成富牧男(日本共産党議員団)

問 鳥栖市の来年度入所待ち児童の見込みは市全体で76名。今後とも解消の見通しは立っていない。そうしたなか、公立保育所では、施設に空きがありながら募集する嘱託保育士が集まらず、児童の入所を断わり続けている。29年度入所児童受け入れに向け募集した8名についても応募はゼロ。その要因が嘱託保育士の待遇面にあることは明らか。この際、緊急避難的な対策として、正規

答 本市における「待機児童等保育士の採用計画の前倒しなど、思い切った保育士確保策をとるべきでは。」の問題は、避けて通ることはできない課題と認識している。そのため、「前例にとらわれることなく、あらゆる手段を通じて解決につなげていかなければならない」との指摘に関しても異論はない。施策の内容と効果を十分に見極め、知恵を絞って努力していきたい。
このほかの質問◆◆限処分の指針策定を、就学援助制度の改善ほか



いじめ問題
について
飛松妙子(公明党)

問

教育の原点は、『子どもの幸福』です。しかし、子どもにとって楽しく学ぶ場であるはずの学校が、いじめなどの深刻な問題により、生きる喜びが奪われてしまうことがあります。いじめ根絶に向けて、大人社会の「本気度」が、今こそ問われています。橋本市長、市民の皆様に向けて、いじめ根絶に繋がるご決意をお示しして頂けますか。

答

命に係わるような陰湿、悪質



信号機の設定
要望について
柴藤泰輔(天桜会)

問

本年1月30日に島根県益田市で朝の登校中、集団登校の小学生9人と男性が信号のない横断歩道を渡っていたところ、男児と男性が軽トラックにはねられるという事故がありました。男性は重傷を負い、その後亡くなりました。この場所は通学路ですので信号機を設置を行政に要望されていたとのことですが、本市においても信号機が設置されおらず危険な箇所は、たくさんある

答

かと思えます。そこで本市に要望があった信号機の設定に関して、過去5年間の要望件数、また要望に基づいて何件設置されたのかをお尋ねします。

要望件数は、過去5年間で15件、設置件数は1件です。設置できない理由として、信号機を設置場所の問題、信号機との間隔の問題等があると聞き及んでいます。

意見

必要な場所への信号機設置は引き続き公安委員会と協議の上、設置して頂きたいと思えます。このほかの質問 ◆二重電話詐欺の対策について



公共施設個別
計画について
伊藤克也(新風クラブ)

問

「公共施設等総合管理計画」では、更新・統廃合・長寿命化等の公共施設の再配置を求められているが、本市が策定を進めている「公共施設中長期保全計画」は、建築物保全のみの個別計画であり、再配置まで見えてくるかは疑問に感じている。全ての個別施設ごとのカルテが必要であり、その為にも「公共施設個別施設計画」が必要であると思うが、本市の考えは。

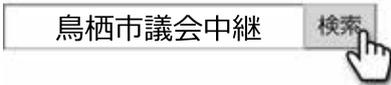
答

「公共施設中長期保全計画」では、予防保全が必要と考えられる全公共建築物を対象としています。長期的な視点から今後20年間に必要な保全の概算費用の見通しを示していきたい。中期的な視点からは、劣化状況を反映した上で、改修時期を決めていきます。このことから、保全計画については、今後5年程度を目安に必要な施設に対して、いつ保全改修を行っていくのかを「中長期保全計画」の中で示していきたい。このほかの質問 ◆「住宅用火災報知器」についてほか

本会議はインターネットとケーブルテレビで中継しています

◆インターネット

本会議の生中継や、録画を配信しています。鳥栖市議会インターネット中継のページにアクセスしてください。



◆ケーブルテレビ

本会議の生中継を放送しています。ケーブルテレビ(はっぴとすビジョン)のチャンネルはCS208チャンネルです。



3月定例会の付議事件と議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

件 名		議決結果	
市長提出	平成28年度 補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、農業集落排水、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計	原案可決	
	平成29年度 予算 特別会計（後期高齢者医療、農業集落排水、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計		
	個人情報保護条例の一部改正 [法律の施行に伴うもの]		
	農業集落排水施設条例の一部改正 [施設の老朽化に伴い、千歳地区農業集落排水施設を廃止するもの]		
	空家等対策協議会条例 [空家等対策協議会を新たに設置するもの]		
	公共下水道区域外流入受益者分担金に関する条例 [排水区域外の汚水を公共下水道に流入する者から分担金を徴収するもの]		
	財産（土地）の取得 [新産業集積エリア整備事業に係る事業用地を取得するもの]		
	総合計画後期基本計画の変更 [議会の議決すべき事件に関する条例の規定によるもの]		
	教育委員会委員の任命 [副田ひろみ氏（西新町）]		同 意
	固定資産評価審査委員会委員の選任 [山内勝伸氏（曾根崎町）]		
固定資産評価審査委員会委員の選任 [大石俊一氏（宿町）]			
副市長の選任 [横尾金紹氏（佐賀市）]	異議なし		
人権擁護委員候補者の推薦 [松隈俊久氏（今泉町）]			
議員提出	市議会会議規則の一部改正 [第62条の一部改正]	原案可決	
	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書		

◆賛否が分かれたもの

件名	議員名																		議決結果			
	西	伊	下	飛	樋	柴	江	久	中	久	内	藤	国	尼	成	小	松	古		齊	森	
市長提出	平成29年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	原案可決
	平成29年度 国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	市税条例等の一部改正 [地方税法の一部改正に伴うもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
議員提出	玄海原発再稼働に関する意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	否 決
	「テロ等準備罪（共謀罪）」法案の撤回を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	
	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○=賛成 ●=反対 ※議長（中村直人）は表決には参加しません

意見書

■無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書

提出：自民、新風、天桜、公明、誠和

■指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書

提出：自民、天桜、公明、誠和

※上記の意見書は、関係行政庁に送付しました。

議会日誌

1月

- 10日 市議会だより編集委員会
- 13日 佐賀県市議会議長会（多久市）
- 25日 議会運営委員会
市議会だより編集委員会
- 27日 議会運営委員会

2月

- 1日～3日 全国市議会議長会基地協議会総会
全国広域連携市議会協議会総会
全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）
- 16日 市議会だより編集委員会
- 21日 会派代表者会
- 22日 議会運営委員会

3月

- 1日～23日 3月定例会
- 1日 市議会だより編集委員会
- 13日 議会改革検討会
- 23日、30日 市議会だより編集委員会
- 31日 総務文教常任委員会

■他議会からの視察来庁【1月～3月】
堺市（大阪府） 山梨県
玉野市（岡山県） 備前市（岡山県）
高岡市（富山県）
以上5議会 [来庁者合計33名]

市議会豆知識

市議会をもっと身近に感じていただくため、今回は市議会のしくみを紹介いたします。

■本会議と委員会

○本会議とは

本会議では、市長が議案（条例や予算など）について説明をし、これに対し、議員が質疑を行い、議長が委員会へ付託します。委員会の審査を経た後、議案に対し討論を行い、議決します。また、市長に市政全般についてたずね一般質問も行われます。

さらに、意見書や決議などを議決し、議会の意思決定や意思表示も行います。

○委員会とは

少数の委員で構成された委員会では、本会議で付託された議案について、専門的に詳細な審査を行います。審査した結果は委員会ごとに、本会議で委員長が報告を行います。

■委員会の構成

○総務文教常任委員会

総務・財務・広報・選挙・教育・生涯学習・消防などに関すること。

○建設経済常任委員会

建設・交通・観光・農政・上下水道などに関すること。

○厚生常任委員会

市民生活・福祉・子育て・保健衛生・文化・スポーツ・環境政策などに関すること。

○特別委員会

特定の事件などを審査・調査する委員会です。

・鳥栖駅周辺整備調査研究特別委員会

○議会運営委員会

議会の運営を能率よく行うために、会議の期間や、議案審議の段取りなどを決める委員会です。

○その他

・議会改革検討会

議長の諮問に基づき、鳥栖市議会の議会改革に関する事項について調査、検討、協議を行います。

・市議会だより編集委員会

市議会だよりの編集や議会報告会に関する事項について調査、検討、協議を行います。

編集後記

基里・旭地区で開催した議会報告会。座談会では、「ダイアログ」での進行に心がけました▼「ダイアログ（対話）」とは、AさんとBさんの主張、どちらが正しいか白黒決める討論ではなく、AさんもBさんも、相手の意見を最大限尊重し、考えを理解した上で、新たな解決策Cを導く手法です▼今回の意見を政策提言と捉え、更に議員間での討議やダイアログを重ね、市政に反映できるよう取り組みます。（西依義規）

次回定例会は
6月上旬からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。
ご意見はこちらまで。

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp